



好きな色や素材の糸を組み合わせて作ります

古くから伝わるリサイクルの知恵 八千代台公民館の“はた織り”体験

3月8日に八千代台公民館で、はた織り体験講座を開催し、13人が参加しました。講座では、着物などをひも状に割いて横糸として使用する裂き織りの手法で、テーママットを作りました。物が少ない時代から受け継がれてきた伝統的なリサイクルの文化を学びました。

市民伝言板 /

- スポーツウェルネス吹矢体験会 性別・年齢を問わずどなたでも楽しく始められるスポーツウェルネス吹矢を体験しませんか。4月19日(金)、5月3日(祝)いずれも午後5時～7時、勝田中央公園小体育館。各回先着10人。参加希望者は電話で、日本スポーツウェルネス吹矢八千代支部・黒沢 ☎080-2014-2274
- 第15回八千代ゆりのき台つつじ祭 各団体による演奏やダンスのほか、模擬店が多数出店。例年25,000人以上が来場し、沿道のつつじの花を愛でながら、近隣の多くの住民が交流を通じて心のふれあいを感じています。4月29日(祝)午前10時～午後5時、八千代中央駅前とゆりのき通りの歩行者天国。同祭実行委員会・北村 ☎080-3910-1638
- ドルチェ・ギター発表会 女性ギターサークルの初めての発表会です。午後のひと時にソロや合奏などギターの音色をお楽しみください。4月28日(日)午後2時～3時50分、緑が丘公民館。ソロギターサークル・ドルチェ・鈴木 ☎090-7906-9339

リサイクル・ガイド 消費生活センター☎483-1151(代表)

●受け付けは、午前9時～正午、午後1時～5時(土曜・日曜日、祝日は休所)。市内在住の人が対象です。企業・営利団体は利用できません。
【ゆずって・無料】▶ガーデンテーブルセット

当事者とおしゃべりしながら性的マイノリティへの理解を クラフトバンドで“にじいろ”リボンづくり



3月9日、男女共同参画センターで「めざせ“にじいろ”！クラフトバンドでリボンを作ろう」が行われました。

市内で性的マイノリティへの理解を広める活動をしている「にじいろコンパス」メンバーのHiroさんやMiyuさんと、当事者が感じていることやパートナーシップ制度についての話をした



▲自分の経験などについて参加者と話すHiroさん

がら、虹色と好きな色二つのリボンチャームを作りました。虹色には、LGBTQの多様性を表す意味があります。虹色のグッズを身につけることで、当事者を支援する「アライ」であることを示せると知った参加者からは「作ったりぼんを早速バッグにつけよう」という声もありました。

10人に一人がLGBTQともいわれています。「LGBTQをきちんと理解したい」という思いがあれば、誰でもアライに。今回のイベントは、身近なことで誰かの力になれると気づける機会になりました。

女子バスケットリーグの熱戦が市民体育館で開催

本市出身の花島百香選手所属のENEOS×デンソー

3月10日、女子バスケットリーグの試合が市民体育館で行われました。この日の対戦はENEOSサンフラワーズとデンソーアイリス。多くの日本代表選手が所属し、首位争いを繰り広げる両チームによる熱戦に会場は大いに盛り上がりました。ENEOSに所属する八千代市出身の花島選手は、この日、出場機会はなかったものの、ベンチから40分間チームを鼓舞し続けました。

小学2年生の時に、市内のミニバスチーム「ラビッツ」でバスケットを始めた花島選手。中学・高校時代は全国大会上位を記録し、2023年に中国杭州で行われ



▲ウォーミングアップを行う花島選手

たアジア競技大会では、3×3女子日本代表として3位に入賞するなど活躍し続けています。実業団入りしてからは、3ポイントシュートやフィジカル面の強化を進め、得意のドライブもさらに磨きをかけています。

「試合でのプレー時間を少しずつ延ばせるように頑張りたい」と熱く語る花島選手。来シーズンの活躍にも期待し、みんなで応援しましょう。



▲試合は接戦の末デンソーが勝利しました

ミニ・ガイド

■ちばサポステサテライト相談 in 八千代市 就労に悩みを抱える15歳～49歳までの現在無業の人とその保護者など関わりのある人を対象に、定期的に八千代市役所での出張相談会を開催しています。専門の相談員が、就労へ向けた全般的な相談をお受けします。各回先着5組(1組50分間)。

▶日時 4月25日(木)、5月～7年3月の毎月第2金曜・第4木曜日、いずれも午前10時～午後4時 ▶場所 市役所1階 第1相談室 ▶申し込み 開催日の前日までに、ちば地域若者サポートステーションに電話かメール ☎043-351-5531、☒

chiba.saposute@mail.o-hara.ac.jp

■精神障害者家族対話の集い 精神障害者を身内に持つ家族を対象に「令和6年度 精神障害者への福祉について」をテーマにして対話の集いを行います。4月25日(木)午後1時30分～3時45分、プラッツ習志野(習志野中央公民館)北館集會室1。申し込みは、電話かファクスで習志野八千代心の健康を守る会・渡邊 ☎453-6760へ

■自衛官(一般幹部候補生)募集 22歳以上26歳未満(大卒程度試験)、20歳以上28歳未満(院卒者試験)の人対象。受け付けは4月24日(水)～6月13日(木)まで。試験日は6月22日(土)。お問い合わせは自衛隊千葉地方協力本部船橋出張所 ☎047-475-2084

八千代歌壇

鶴岡 美代子選

泣き叫ぶ幼抱きしむる日本人女医ガザ爆撃に捨て身の治療

(ゆりのき台) 池内きよ子

年始め胸痛むこと数多あり地球の平和よ早く来い

(勝田台) 二神 節子

八千代市の新春書道うちわ展思いを筆に美しく書く

(高津団地) 吉井 惇子

月曜の朝のプチうつつ吹き飛ばす車窓はるかに冠雪の富士

(八千代台西) 田崎 木実

通販で求めしまな板重すぎて二度のみ使い六年過ぎる

(大和田新田) 上野久美子

長靴を履きて戻りし弟のバケツに騒ぐアメリカザリガニ

(八千代台北) 石川 静子

今日は晴れ残りの雪も解け始め見えな芝生にタンポポ一本

(八千代台北) 野原 隆志

孫娘祖母の料理を垣間みてレシピあらぬに祖母の味にす

(八千代台東) 木村 和夫

選評 一首目、世界中が憂いているガザの地で、日本人の女

医も奉仕活動をしているという。同じ日本人として誇りに思うと同時に、自身の命と保証がない訳で、その勇気と行動に誰しも頭が下がる。二首目、年が明けても地球上には紛争と温暖化による災害が続いている。日本に限れば能登の地震や航空機の事故もあった。それら重い事柄を受けて、下旬の軽い「早く来い来い」は救いとなった。三首目、市の新春行事のうちわ展、年頭に相応しい題材であり、素直で明るい作品。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

サドンデス蹴り込むゴール時止まる 緑が丘 坂根 元幸

テレビ来た力道山と大相撲 緑が丘 関 正雄

食べながら釣った魚の自慢する 村上団地 成瀬 謙三

酒に飲まれた夫が散らす諭吉さま 村上 井上 すす

鍋奉行灰汁取りながらフグを死守 勝田台 福島 つぐ

ポケットに鬼の居座る反抗期 勝田台 小林きらら

被災地に容赦なく降る雨や雪 八千代台東 木村 和夫

綺麗です顔じゃなかった胃の検査 八千代台東 栗川 幸雄

いい話ここにぼつと灯が点る 大和田 羽生田はる

顧客との絆深める飲み屋街 萱田町 倉林おさむ

オバサンの着ぐるみ捨てて踊りたい 上高野 神津真智子



防災無線自動電話応答サービス
☎0120(970)911
24時間以内の防災無線放送の内容を確認できます